

# おきなわ工房 當眞 貴幸さん



心を込めてお守りに色を重ねる當眞貴幸さん＝16日、沖縄市安慶田の「おきなわ工房」

事業所の壁に掛けられたたくさんのお守り。十二支、安産祈願、交通安全祈願、サングアーなど種類はさまざま。沖縄市安慶田にある「おきなわ工房」の當眞貴幸さん(45)＝同市＝は、お守りに描かれた「辰」の絵に細い筆で慎重に色を塗る。

## 買う人を想像して作業

同事業所では約30種類のお守りを製造し、県内の神社に卸している。お守りを作り始めたのは15年ほど前。試しに20個ほど作り、神社に卸したところ評判となった。現在では1年間に約2万個を製造している。年末年始や受験シーズンは繁忙期でもある。

當眞さんが同事業所に通い始めたのは1996年の開設時から。沖縄高等特別支援学校を卒業後、一般就労でクリーニ

かい作業のため、集中力を切らさないように休みながら塗るのがコツだという。自分が作ったお守りを、知人が付けている姿を見かけることもある。「うれしいね」とはにかんだ表情を見せる。

施設長の田中さんは「明るくて真面目。世話好きで他の利用者の手伝いも進んでしている」と當眞さんの人柄を語る。

趣味は体を動かすことだという。コロナ禍前には、おきなわマラソンや中部トリム・ハーフマラソンにも出場した経験がある。

「いつも通り体に気を付けてコツコツと頑張りたい」。そう話し、再びお守りに色を重ねた。

「買う人が喜ぶ姿を想像して作るようにしている」と話す當眞さん。細

(渡真利優人)